MON	NITOUCH		
テクニス	カルインフォメーション	2022年6	月9日
テーマ	TELLUS-HMI Ver. 4とSX-Programmer のオフラ・	インシミュレーションにつ	いて
該当機種	V9 シリーズ	No. TI-T-0004	1/8

1. 目的

V9 シリーズ本体と PLC 実機がなくても、TELLUS-HMIと SX-Programmer をオフラインでシミュレーション接続し、PLC のプログラムと連動して画面の動作を確認できます。



2. 動作環境

■対応機種

V9 シリーズ *V-SFT-6 で画面データの設定・保存が必要

■対応 PLC 機種

富士電機: MICREX-SX(Ethernet) *PLC1、1:1 接続のみ可

■ PLC ローダソフト SX-Programmer

SX-Programmer Expert の場合: V3.6.14.22 以降 SX-Programmer Standard の場合: V3.1.0.13 以降

■ TELLUS-HMI

弊社ホームページより試用版をダウンロードできます。(ただし1時間単位の起動になります。) https://hakko-elec.co.jp/site/support/download-index.html

テクニカ	レインフォメーション	No. TI-T-0004	2/8
3. シミ	ュレーション接続までの流れ		

V9 シリーズ 画面データの設定 (作画ソフト「V-SFT-6」使用) ····· P. 2 ↓ ネットワークの切断 ·····P. 3 ↓ SX-Programmer SX シミュレータの起動 (PLC ローダソフト「SX-Programmer」使用) SX-Programmer Expert の場合 ·····P. 3 SX-Programmer Standard の場合 ·····P. 6 ↓ TELLUS-HMI の起動 (ソフトモニタッチ「TELLUS4」使用) ·····P. 8

4. V9 シリーズ 画面データの設定 (V-SFT-6)

- 1. V9 シリーズの画面データを開きます。
- [システム設定] → [ハードウェア設定] で PLC の IP アドレス、ポート No.を変更します。
 IP アドレス: 127.0.0.1 (固定)
 - ポートNo.: SX-Programmer Expert の場合…10256(固定)

SX-Programmer Standard の場合…2001(固定)



3. [ファイル] → [名前を付けて保存] をクリックします。

R = S C (= =	F (N TT)		スクリー	-ン[0] - [TEST.\	/9]		MICREX-SX
ブアイル ホーム ハ	(ーツ 編集	表示 画面語	安定 転送	ミーシステム	設定 ツール	ヘルブ	MICREX-SX
→ 開く → 上書き保存 新規作成 → 上書き保存	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	リプレビュー Eのウィンドウを印刷	ストレージ マネージャ	ファイル比較	● 開 ● 開 ● 新規作成		Fr 言語設定
ノアイル	E	16)	ストレージ	ファイル管理	コンポーネントパー	<u>۷</u>	その他

テクニカルインフォメーション	No. TI-T-0004	3/8

4. [ファイルの種類:*.V9Z]を選択後、任意の名前を付けて保存します。

🎇 名前を付	けて保存				×
$\leftarrow \rightarrow$	 ・ PC > ボリュー 	-᠘(E:) > work > Data	ٽ ~	Dataの検索	م
整理 ▼	新しいフォルダー				 ?
名前	^	更新日時	種類	サイズ	
77'	イル名(<u>N</u>): TEST.V9Z				~
ידע דיראט	イル名(<u>N</u>): TEST.V9Z の種類(<u>T</u>): *.V9Z				~

4. ネットワークの切断

使用するパソコンの全てのネットワークを切断します。(例:LAN ケーブルを抜く、Wi-Fiを OFF にするなど)

ネットワークにつながっていると、正常に通信できない場合があります。	

5. SX-Programmer SX シミュレータの起動

5.1 SX-Programmer Expert の場合

- 1 PLC のプロジェクトデータを開きます。
- 2 [ビルド] → [プロジェクトの再コンパイル] をクリックし、プロジェクトにエラーがないことを確認します。
- 3 ツールバーにある [SXPLC シミュレータ] アイコンをクリックし、SXPLC シミュレータを起動します。

 ツールバーに [SXPLC シミュレータ] アイコ [拡張] → [オプション] → [ツールバ- 例) SX-Programmer Expert	コンがない場合 -] タブで、 [SXPLC シミュレータ] にチェックを入れます。
Ver. 3.7.1.17	ブロジェクル比較(未対応) パック7ップ ワールキップ サンプ リング トースの色 変数テーブ ル ア・カイマンディタン デオストンディタ デオストの色 グフィッンディタン パンプ フィッンジ パンジ ア・フィッンジ パンジ ア・カインジ ア・カインジ <t< td=""></t<>

Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-T-0004	4/8
----------------	---------------	-----

4 SXPLC シミュレータが起動すると、 [SXPLC シミュレータ情報] ダイアログに SXPLC シミュレータの IP アドレス とポート番号が表示されます。





5 [オンライン] → [プロジェクトコントロール] をクリックします。 SXPLC シミュレータを起動させている場合、下図のように状態が「停止(シミュレーション)」と表示されます。



6 [ダウンロード]をクリックすると、[ローダ-> CPU にダウンロード]ダイアログが表示されます。
 [プログラム]と[システム定義]を選択し、[OK]をクリックします。ダウンロードが始まります。



7 ダウンロードが正常に終了すると、以下のダイアログが表示されるので、 [OK] をクリックします。
 [プロジェクトコントロール] ダイアログ内の [リセット] をクリックし、SXPLC シミュレータをリセットします。

		1 R_M256H (C	- 🗆 X
-ý ->CPUにý ウンロート X		状態 :停止(シミュレ- キー状態:TERM ● ─括操作(<u>M</u>) 停止(<u>S</u>)	-ション))個別操作(<u>K)</u> イニシャル起動(<u>C</u>)
>>フテュ定義が変更されました。 PLCをリセッドするか、または、電源を再投入してください。	\rightarrow	起動(<u>W</u>) ダウンロートヾ(<u>D</u>)	リセット(<u>R</u>) アッフロート"(<u>U</u>)
ОК		照合(⊻) プログラム操作(<u>P</u>)	クリア(<u>L</u>) カレンダン時計(<u>Q</u>)
		リソース情報(<u>I</u>) パスワートヾ(<u>A</u>)	故障診断(<u>E</u>)
		閉じる(<u>z</u>)	ヘルフ(<u>H</u>)

8 [オンライン] → [モニタ] をクリックし、プロジェクトをモニタ状態にします。

SX-Programmer Expert(D300win) - sample - [LADDER:LADDER - C_SX.R_M	256	6H.DEFAULT.PROG_1.LADDER]	
■ ファイル(E) 編集(E) 表示(V) プロジェクト(P) ビルド(B) オブジェクト(Q) レイアウト(L)	オンラ	ライン(<u>N)</u> 拡張(<u>X)</u> ウィンドウ(<u>W</u>) ヘル	^{17°} (H)
D 🖗 🕞 🕲 😓 🗁 🕾 🕪 🔍 🔍 🖸 🗖 🖉 层 🖉	Ş	€=∮(<u>D</u>) F10	= 14 📼 🐼 🧇 🏠 📾 🔛 🖉 🖉 🦷
은 😘 😫 🔍 🔍 🖵 🔲 🖘 🗠 😤 🛊 🐻 🖬 세 세 中 中 세 비	لل	プロジェクト コントロール(』)	📼 ka 🛞 📩 🐄 🛗
: ን' በ እንደ ታት እንድ		オンラインレイアウト(Y)	
ເ⊒- 🔄 7ື ປັ່ນ ້າ/ໄ≻ : C:¥D300win¥Projects¥s		トグルブール変数(サンブル)(T)	
		7/2-12 7-12-10 (1)	
		177117 $X777$ $O_{3X}/V(\underline{A})$	
- 🔄 プログラム構成		サンプリンク゚トレース(L) ▶	
			1

5.2 SX-Programmer Standard の場合

- 1 PLC のプロジェクトデータを開きます。
- 2 [変換] → [すべて変換] をクリックし、プロジェクトにエラーがないことを確認します。
- 3 [オンライン] → [シミュレーションモード] をクリックすると、 [SX シミュレータ] ダイアログが起動します。



4 [Slot0] をクリックし、 [CPU モジュール選択] ダイアログで CPU モジュールの型式を選択し、 [OK] をクリッ クします。 [SX シミュレータ] 上に、選択した CPU が表示されます。



5 [オンライン] → [PLC 操作(起動/停止/転送)] をクリックすると、 [Resource(CPU0)] ダイアログが表示されます。 このとき SX シミュレータは停止状態です。



テクニカルインフォメーション	No. TI-T-0004	7/8

[PLC へ転送] をクリックすると、 [PLC へ転送] ダイアログが表示されます。
 [プログラム] と [システム定義] を選択し、 [転送] をクリックします。 ダウンロードが始まります。



×

.

閉じる

7 ダウンロードが完了したら、以下のダイアログが表示されるので、 [はい] をクリックします。 リセットが完了すると、SX シミュレータが運転状態に変わります。



8 [オンライン] → [モニタ] をクリックし、プロジェクトをモニタ状態にします。



Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-T-0004	8/8

5. TELLUS-HMI の起動

- 1. Windows のスタートメニューを開き、 [Tellus] → [Tellus4] をクリックし、 TELLUS4 を起動します。
- 2. TELLUS のライセンス認証を行っていない場合、以下のダイアログが表示されます。
 - [いいえ]をクリックし、次のダイアログでは [OK]をクリックします。



3. [起動モードの選択] で [HMI] を選択後、 [OK] をクリックします。

Tellus 4. 0. 12. 0	– 🗆 X
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	ОК
	キャンセル
	オフ*ション(<u>O</u>)
	V-Server設定(S)

4. [ファイルを開く] ダイアログで、P. 2 で作成した「.V9Z」ファイルを選択し、 [開く] をクリックします。

🄤 ファイルを開く		×
ファイルの場所:	E¥work¥Data C O O	- 🗉 🗉
S My Computer	TEST.V9Z	
🤰 m-higashi		
 ファイル名(<u>N</u>):	TEST.V9Z	開(0)
ファイルの種類	V9 File(*.\/9 *.\/9z *.\/9y)	キャンセル
🗌 ショートカットの作成		

5. すでに起動している SX シミュレータと TELLUS4 が接続され、画面が起動します。





【お問い合わせ】 発紘電機株式会社 技術相談窓口 フリーコール: 0120-128-220 FAX: 076-274-5208